



AKIBA ホールディングス

2022年 3 月期 第 2 四半期決算説明資料
2021年11月12日

1. 2022年3月期第2四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

1. 2022年3月期第2四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

セグメント

2021年9月29日付でメモリセグメントの会社取得を発表

メモリ製品製造販売
(メモリ)

株式会社アドテック、シーアールボックス株式会社
メモリ製品の製造・販売、IoTソリューション事業 等
※シーアールボックスは2022年3月期第4四半期から連結予定

通信コンサルティング
(通信)

株式会社バディネット
エンジニアリング事業、コンタクトセンター事業 等
※iconic Storageとトランセンエンジニアリングは2021年4月1日にバディネットに吸収合併

HPC
(HPC)

株式会社HPCテック
科学技術コンピュータの製造・販売

その他
(その他)

株式会社ダイヤモンドペット&リゾート
旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業
不動産事業 等

※ 2021年11月12日現在

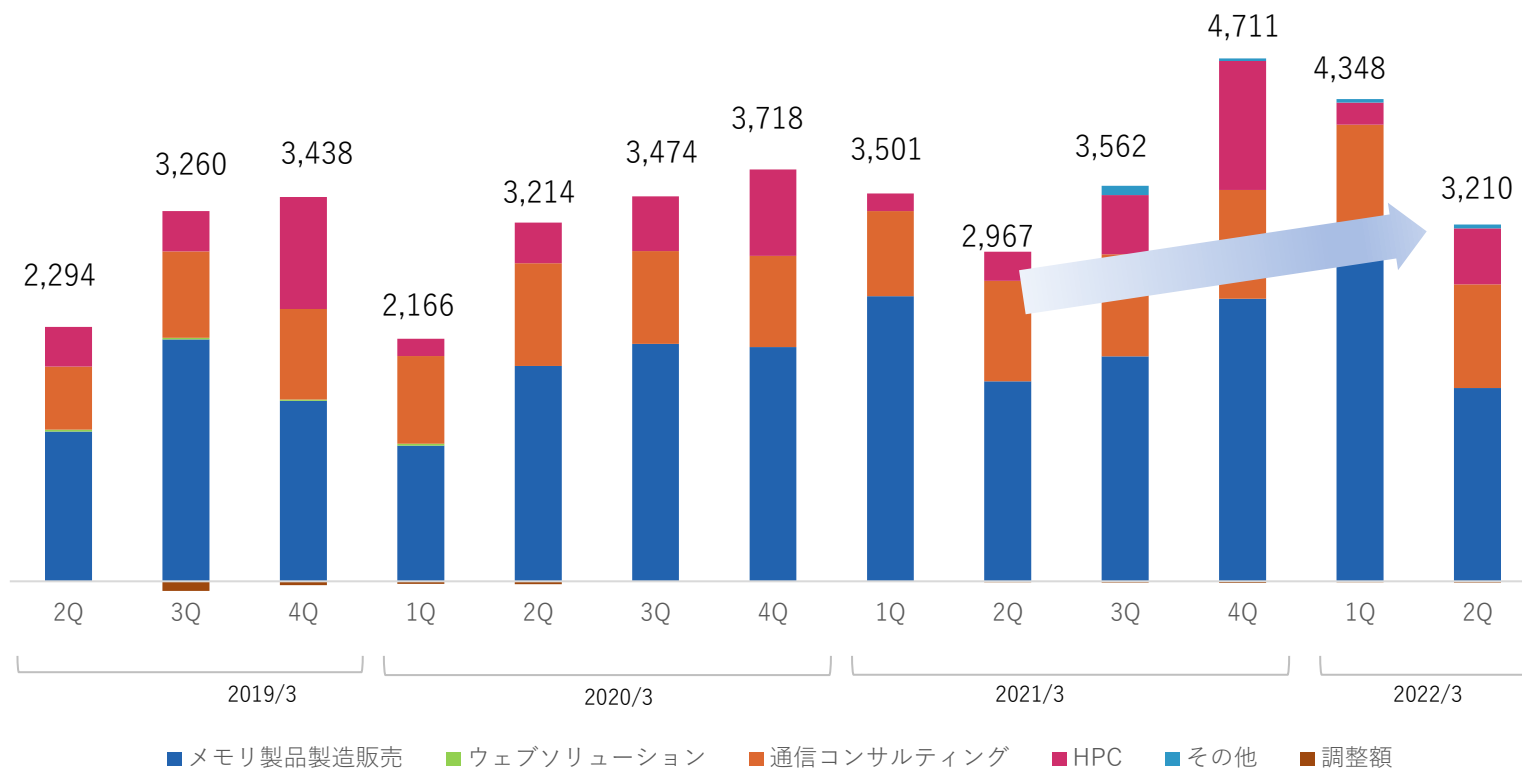
概況

大幅増収も、先行投資、その他の営業赤字で減益

	連結	全報告セグメントで増収、一時費用、その他の赤字で減益 売上高 : 7,559 前年同期比 : 116.9% 営業利益 : 186 前年同期比 : 76.7%
	メモリ製品製造販売 (メモリ)	法人向けメモリ復調、先行手配奏功、IoTも順調で増収増益 売上高 : 4,984 前年同期比 : 113.8% 営業利益 : 162 前年同期比 : 129.0%
	通信コンサルティング (通信)	5G関連工事中心に増収、一時費用計上、先行投資で減益 売上高 : 1,819 前年同期比 : 108.4% 営業利益 : 100 前年同期比 : 59.5%
	HPC (HPC)	営業環境改善し順調に推移、増収増益 売上高 : 706 前年同期比 : 167.7% 営業利益 : 31 前年同期比 : 174.6%
	その他 (その他)	緊急事態宣言による営業縮小で、損失計上 売上高 : 66 前年同期比 : - 営業利益 : -32 前年同期比 : -

連結売上高

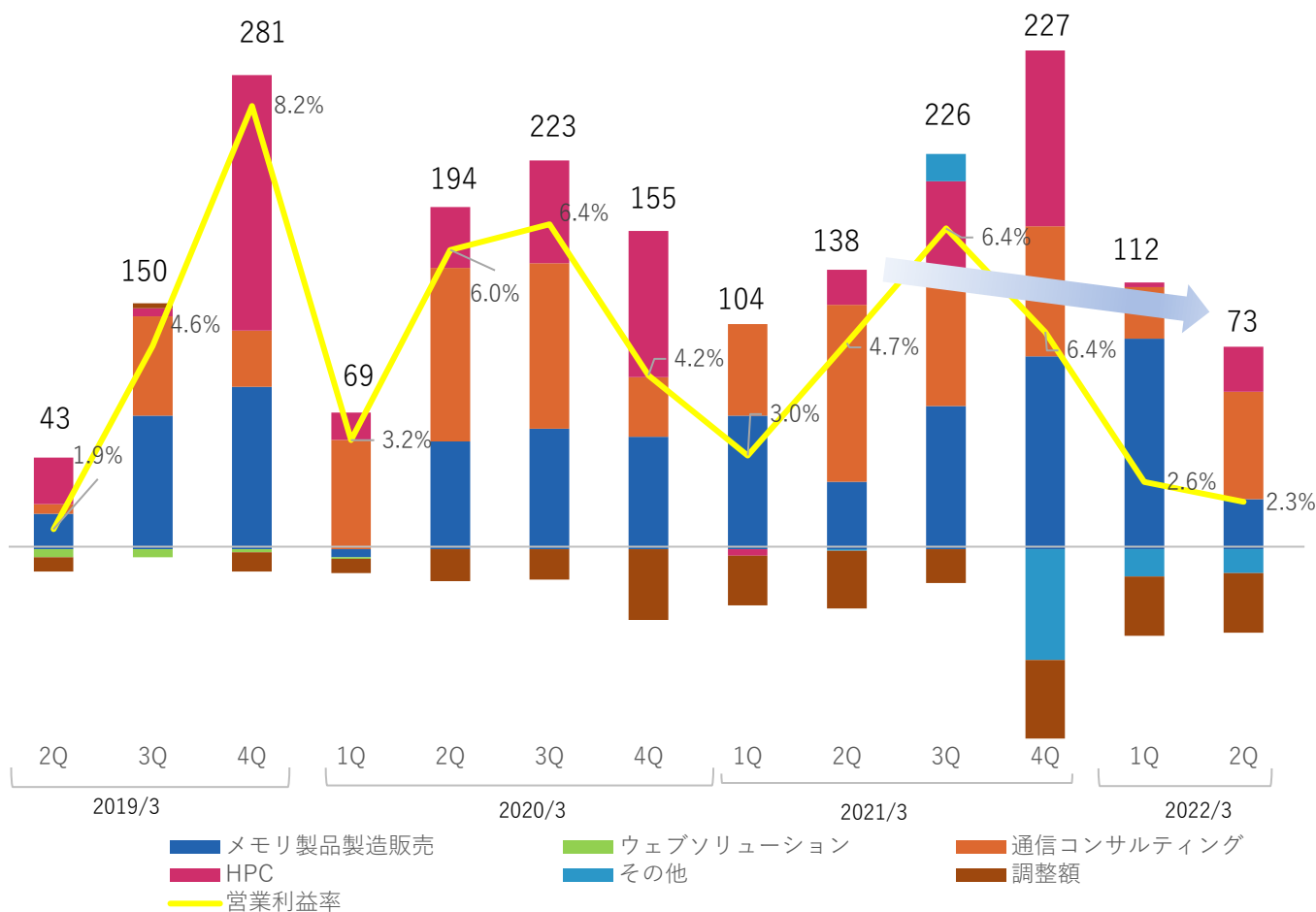
累計では全報告セグメントで増収



※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

連結営業利益

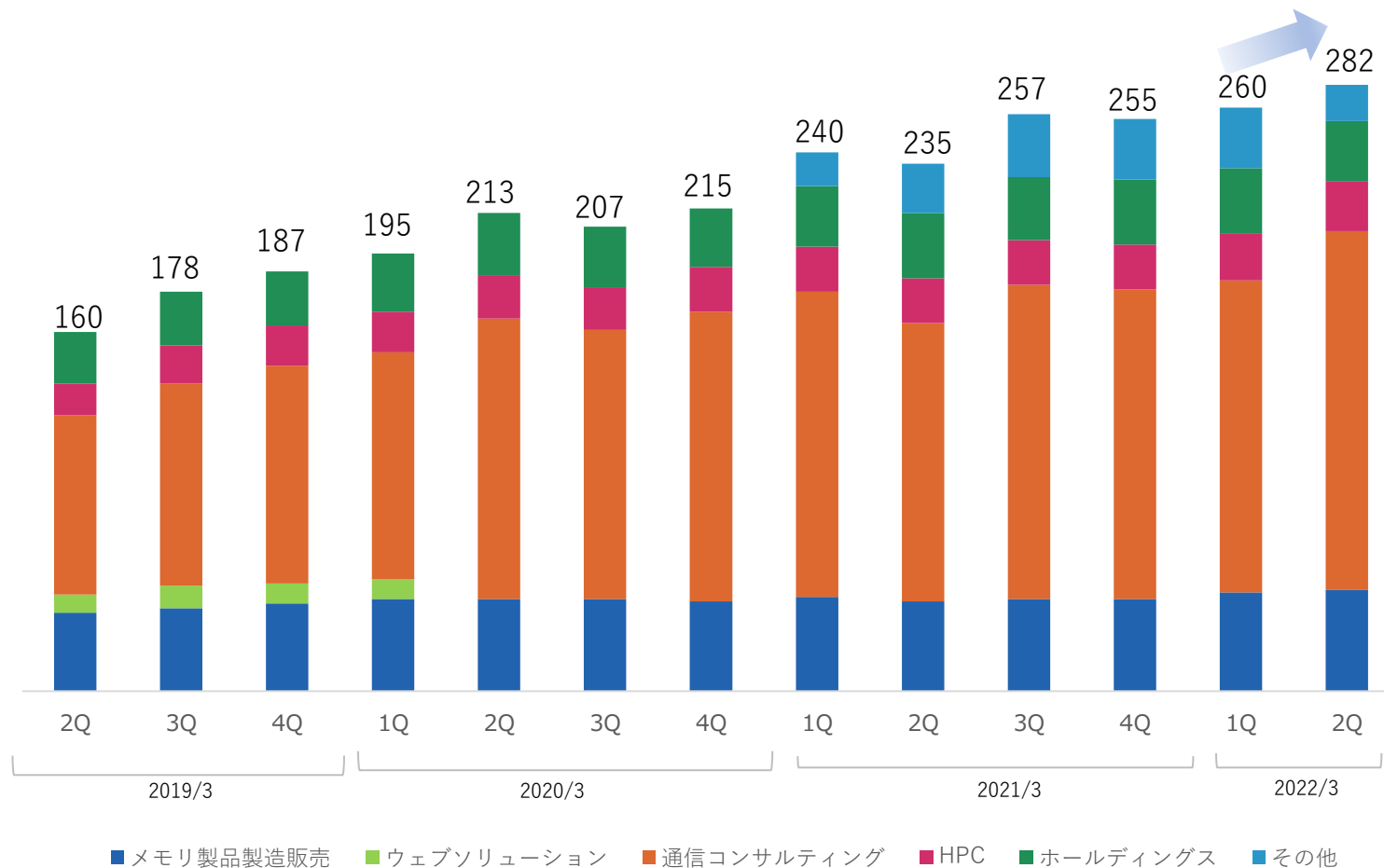
先行投資による一時費用計上、販管費増加で減益



※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

役職員数

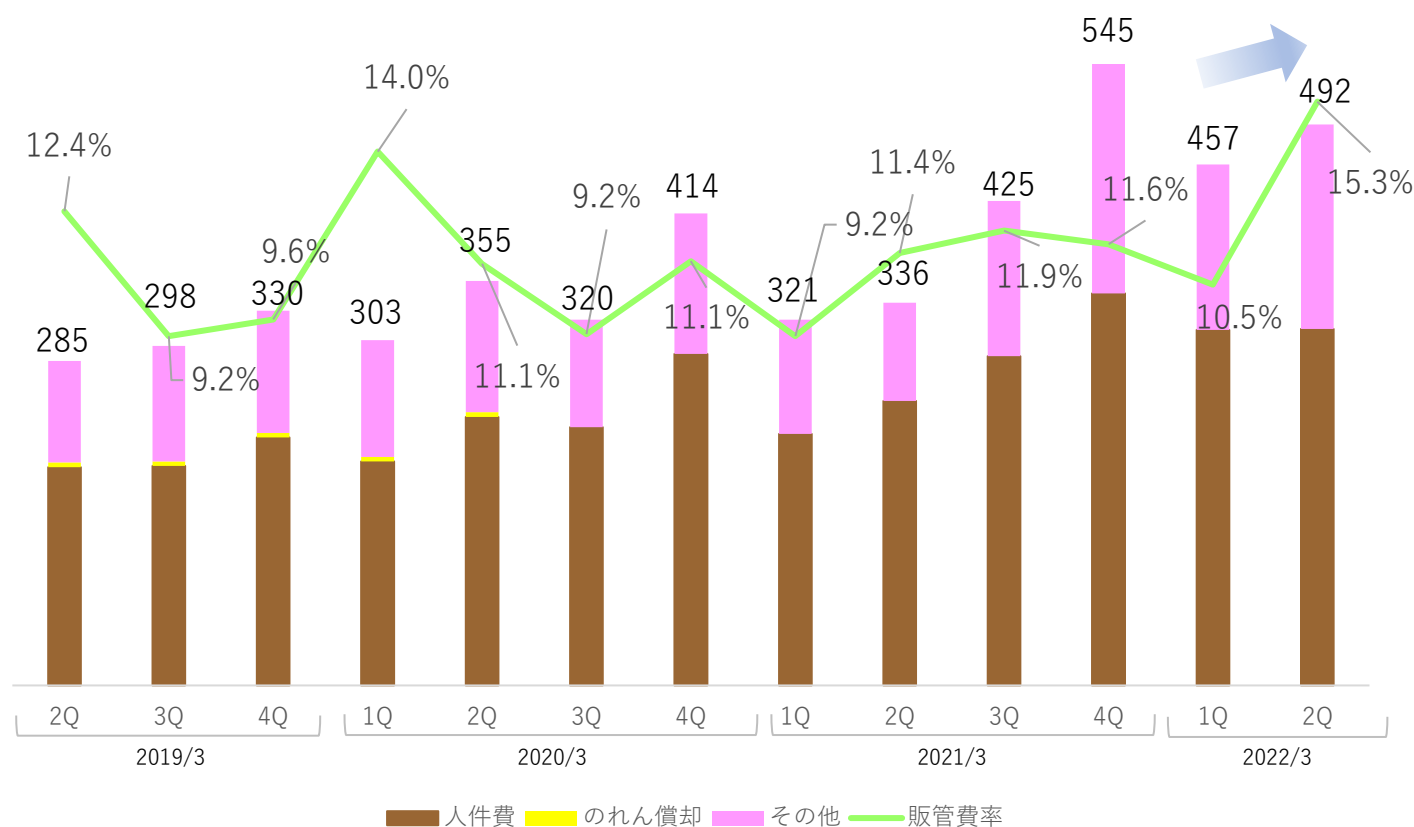
通信、工事需要増加に対応し大幅増員、増員続ける



※ 各年度末実績、役職員＝役員、正社員、契約社員、アルバイト

販売費及び一般管理費 会計期間

M & A関連費用等一時費用計上もあり販管費率上昇



※ 人件費＝給与、役員報酬、賞与、退職金、通勤交通費、法定福利費、採用費、教育費、福利厚生費（引当金含む）

連結貸借対照表

部材先行調達により棚卸資産大幅増加

	2021年3月期 期末	2022年3月期 第2四半期末	前期末比	トピックス
流動資産	7,976	7,444	93.3%	・ 前4Q比売上高減少で売掛債権、買掛債務ともに減少 ・ 部材調達難、長納期対策で棚卸資産増加傾向続く ・ 事業規模拡大に備えた借入金増額 ・ 黒字継続で利益剰余金増加続く
現預金	3,752	3,592	95.7%	
売掛債権	3,351	2,527	75.4%	
棚卸資産	705	1,130	160.2%	
固定資産	403	401	99.4%	
繰延資産	—	—	—	
資産合計	8,380	7,845	93.6%	
流動負債	5,414	4,690	86.6%	
短期借入金	2,800	2,950	105.4%	
買掛金	1,644	1,002	61.0%	
固定負債	718	803	111.9%	
長期借入金	596	657	110.3%	
負債合計	6,133	5,493	89.6%	
株主資本	2,042	2,138	104.7%	
資本金	700	700	100.0%	
利益剰余金	872	969	111.0%	
負債・純資産合計	8,380	7,845	93.6%	

連結損益計算書

増収、売上総利益率改善も、販管費増加により減益

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	前期比	トピックス
売上高	6,468	7,559	116.9%	・全報告セグメントで増収、 その他での売上計上もあり増収 ・メモリ、通信原価率低減で 売上総利益率改善 ・先行投資のための移転、増床 実施で一時費用計上に加え 固定費も増加 ・M & A関連費用等の一時費用 計上 ・その他セグメントは営業赤字 計上
売上原価	5,568	6,423	115.4%	
売上総利益	900	1,135	126.1%	
販売費及び一般管理費	657	949	144.3%	
営業利益	242	186	76.7%	
営業外収益	14	14	100.3%	
営業外費用	12	12	94.2%	
経常利益	244	188	77.2%	
特別利益	—	0	—	
特別損失	—	6	—	
税金等調整前当期純利益	244	183	74.9%	
法人税等合計	101	79	78.7%	
当期純利益	143	103	72.2%	
非支配株主に帰属する当期純利益	2	7	297.6%	
親会社株主に帰属する当期純利益	140	96	68.4%	

1. 2022年3月期第2四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

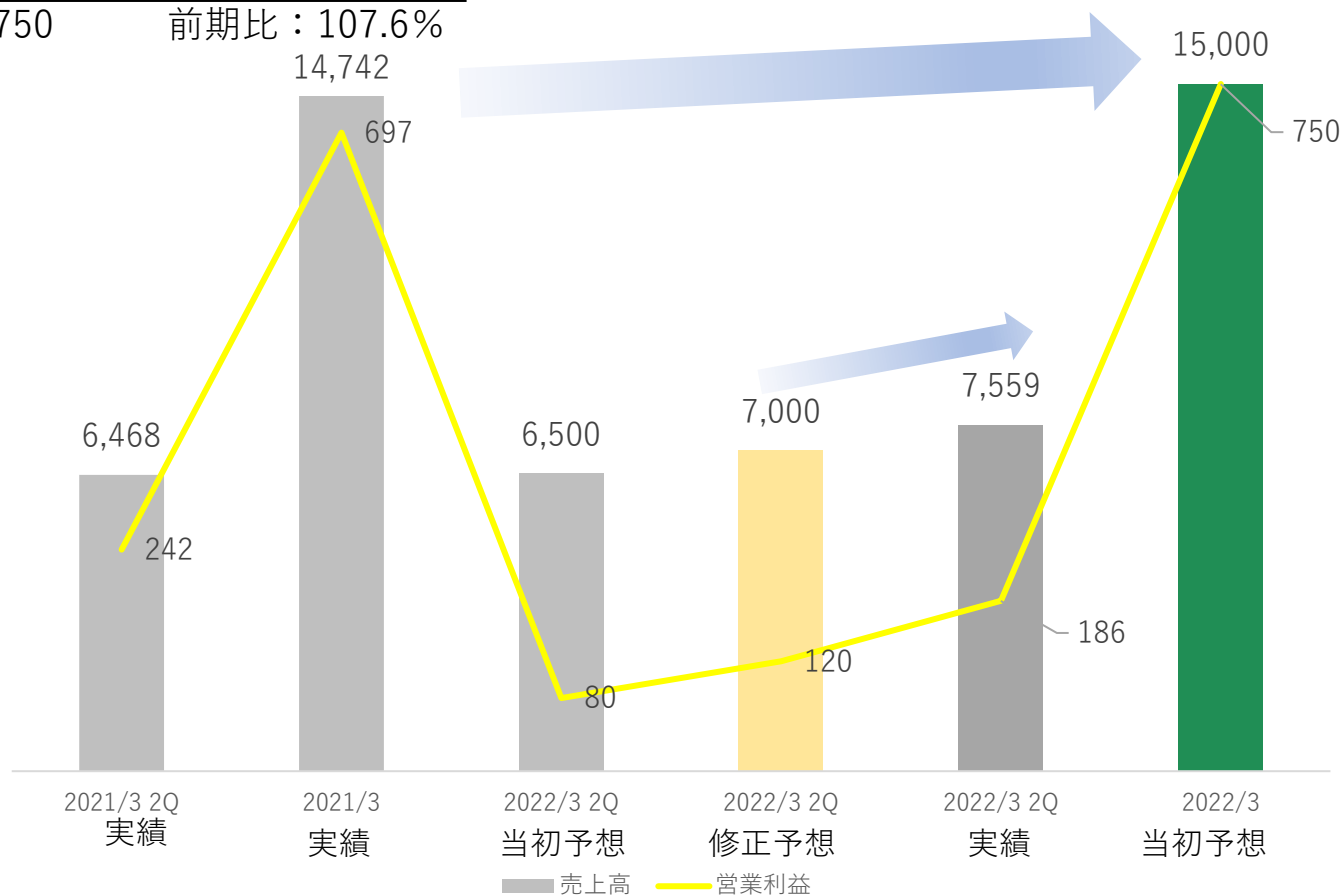
業績予想

成長投資と5期連続増収営業増益の両立を目指す

第1四半期の業績進捗状況から、第2四半期累計期間の業績予想を上方修正、実績は修正予想を超える

[通期予想] 一方、PC市況、メモリの調達状況、その他の業績推移の不透明感を考慮し、通期は据え置き

売上高：15,000	前期比：101.7%
営業利益：750	前期比：107.6%



1. 2022年3月期第2四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

3.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

売上高

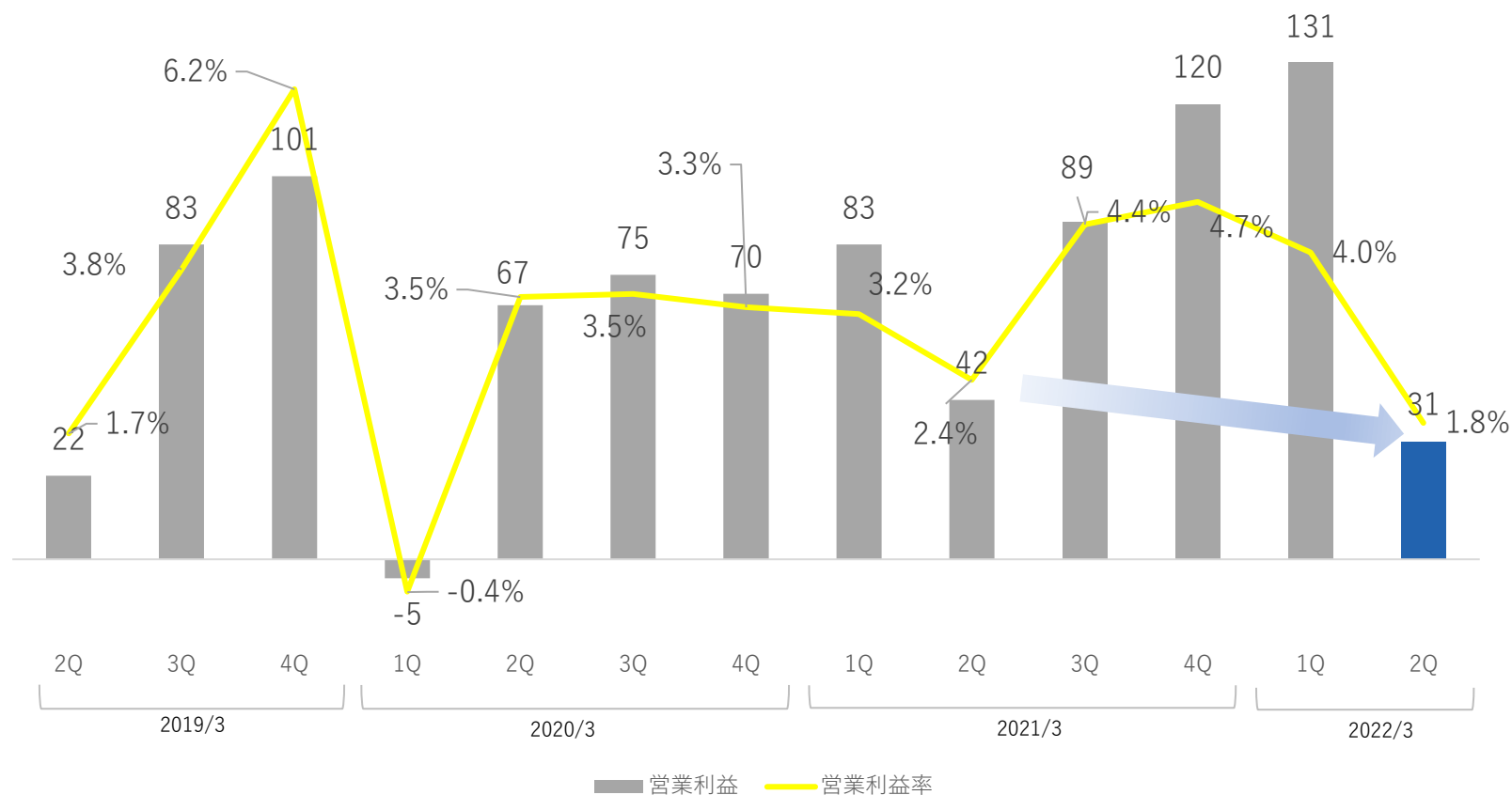
- ・法人向け、産業用メモリ製品、需要回復、顧客の先行入手傾向もあり売上拡大
- ・部材販売は2Q単独では、1Q比、前期比とも減少、2Q単独でセグメントは減収
- ・IoT、一部量産用部品の入手難で量産品の出荷は減少
- ・IoT、半導体部品の入手支援業務、開発案件の増加で事業全体での増収維持



3.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

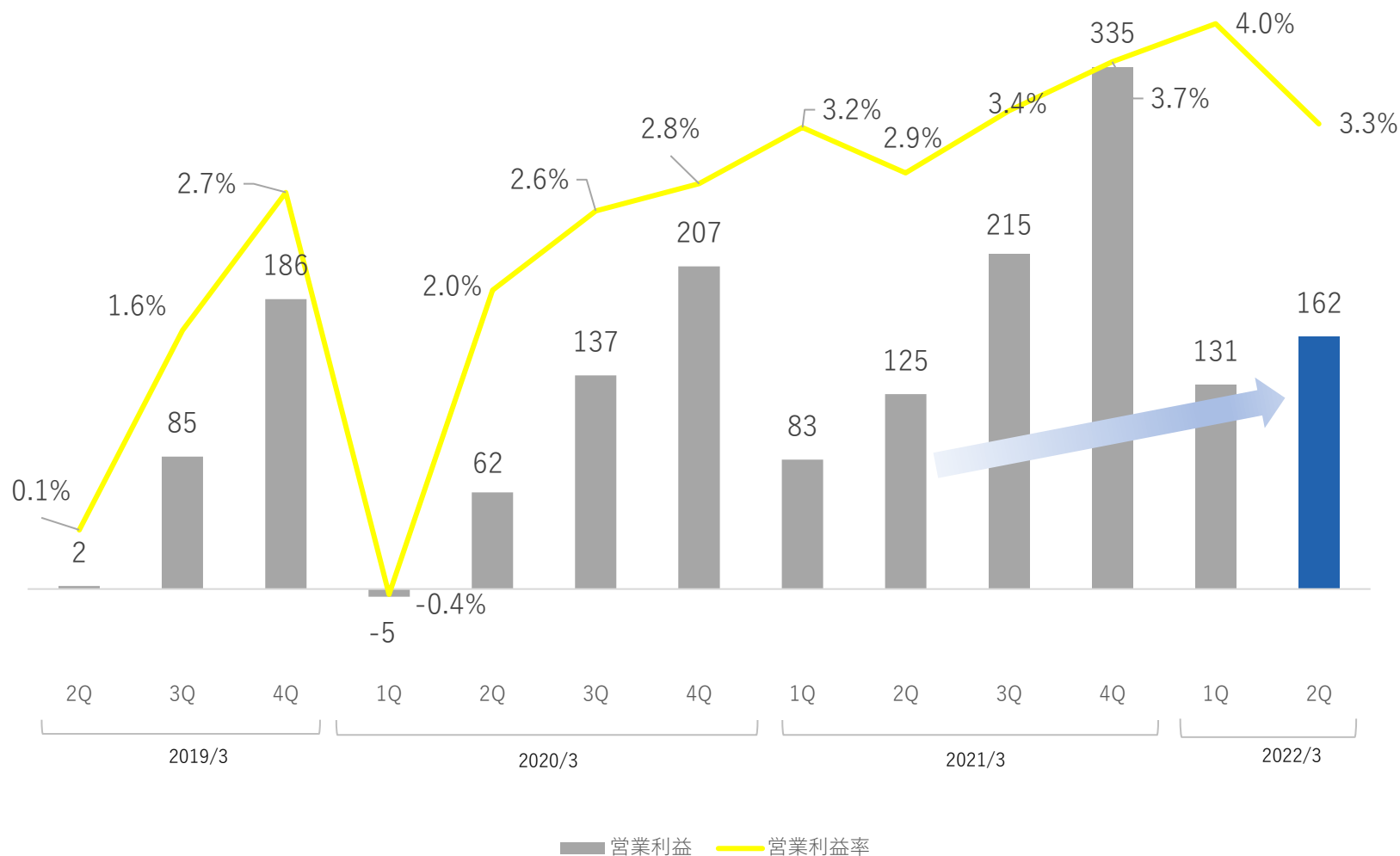
営業利益 会計期間

- ・ 部材販売の比率が低下したことからセグメント全体では粗利率向上
- ・ 法人向け、産業用メモリ製品、半導体価格高騰で原価率上昇も累計では増益維持
- ・ M&A関連一時費用計上でセグメントでは減益
- ・ 開発案件獲得、BtoC製品ラインナップ強化、IPC事業立上げ等で利益増加図る



3.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

営業利益 累計期間



ニューストピックス

新製品の開発に注力、個人向け製品も販売開始

2021年7月7日 [販売開始]
GaN搭載105W PD充電器など 販売開始

BtoC向け、高出力対応105W・65W・20W出力
対応PD充電器の販売開始。



2021年10月12日 [販売開始]
低価格・高性能SSD 4種販売開始

BtoC向けのSSD 4種の販売開始。
高性能に加えて、手に取りやすい低価格を実現。



※ 第2四半期累計期間終了後、2021年11月12日までに発表した情報を含む

ニューストピックス

新製品の開発に注力、個人向け製品も販売開始

2021年9月29日～10月1日 [出展]
第1回国際二次電池展 へ出展

9月29日より3日間東京ビッグサイトで開催された、第1回国際二次電池展 へ出展。
自社開発品である「鉛電池沿革監視ソリューション」を出展した。



2021年11月2日 [開発]
IoT事業 バッテリー保全機器を開発

バッテリー特性を常時監視できる鉛電池遠隔監視ソリューションを開発。バッテリーパラメータのセンシングから、通信、クラウド環境の構築まで、トータルシステムの提案が可能。



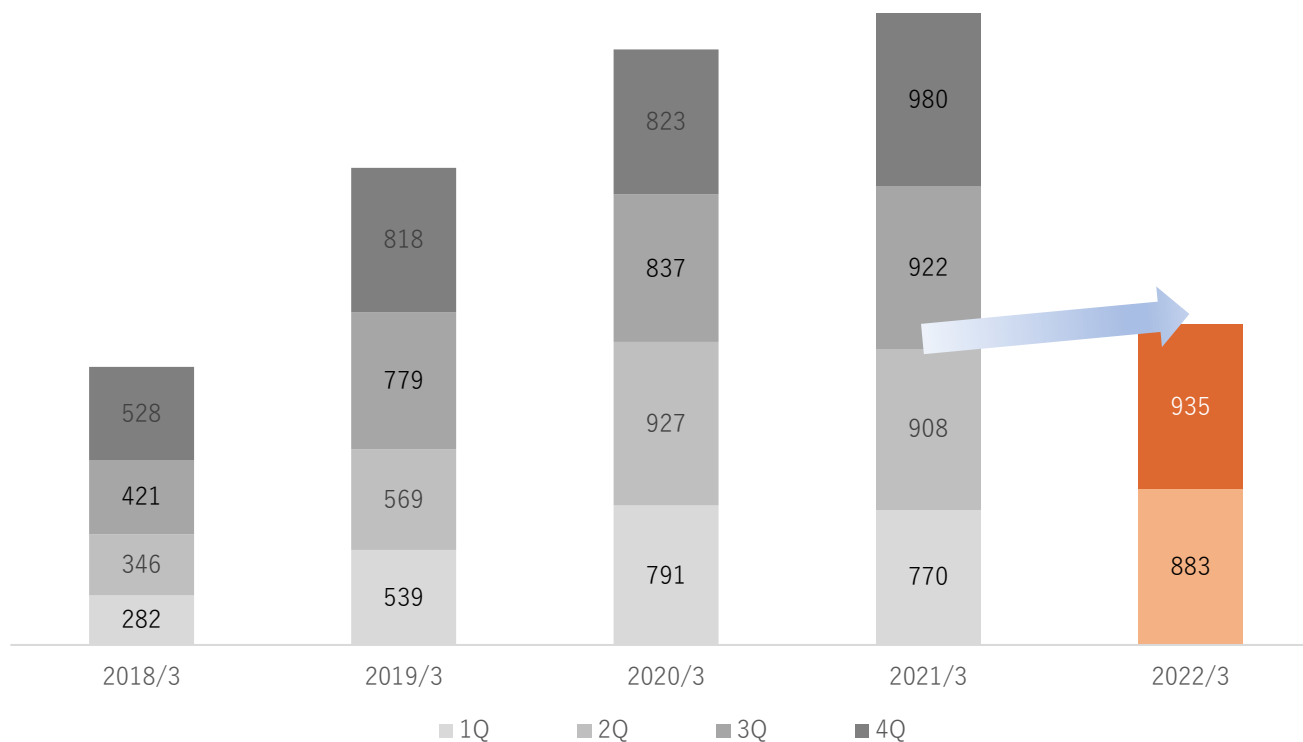
※ 第2四半期累計期間終了後、2021年11月12日までに発表した情報を含む

1. 2022年3月期第2四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

3.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

売上高

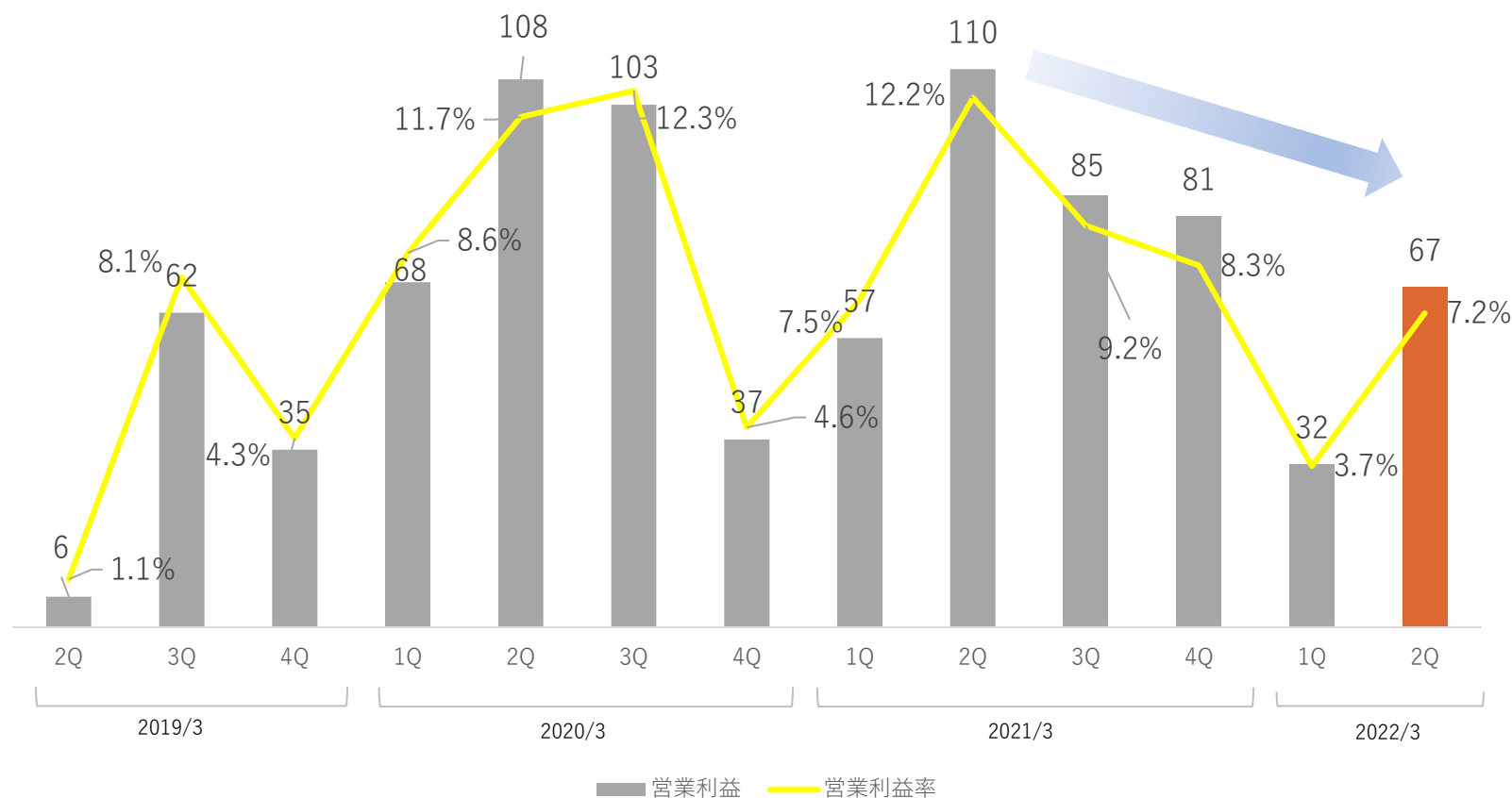
- ・通信建設工事事業、屋内電波対策関連工事、インターネット回線関連工事増加で増収
- ・コンタクトセンター事業、合併効果もあり規模拡大で増収
- ・キャリア3Gサービス終了に伴うマイグレーション工事施策の取り組み強化
- ・『ポリマテリアル®充填』工事及び関連事業の取り組み強化



3.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

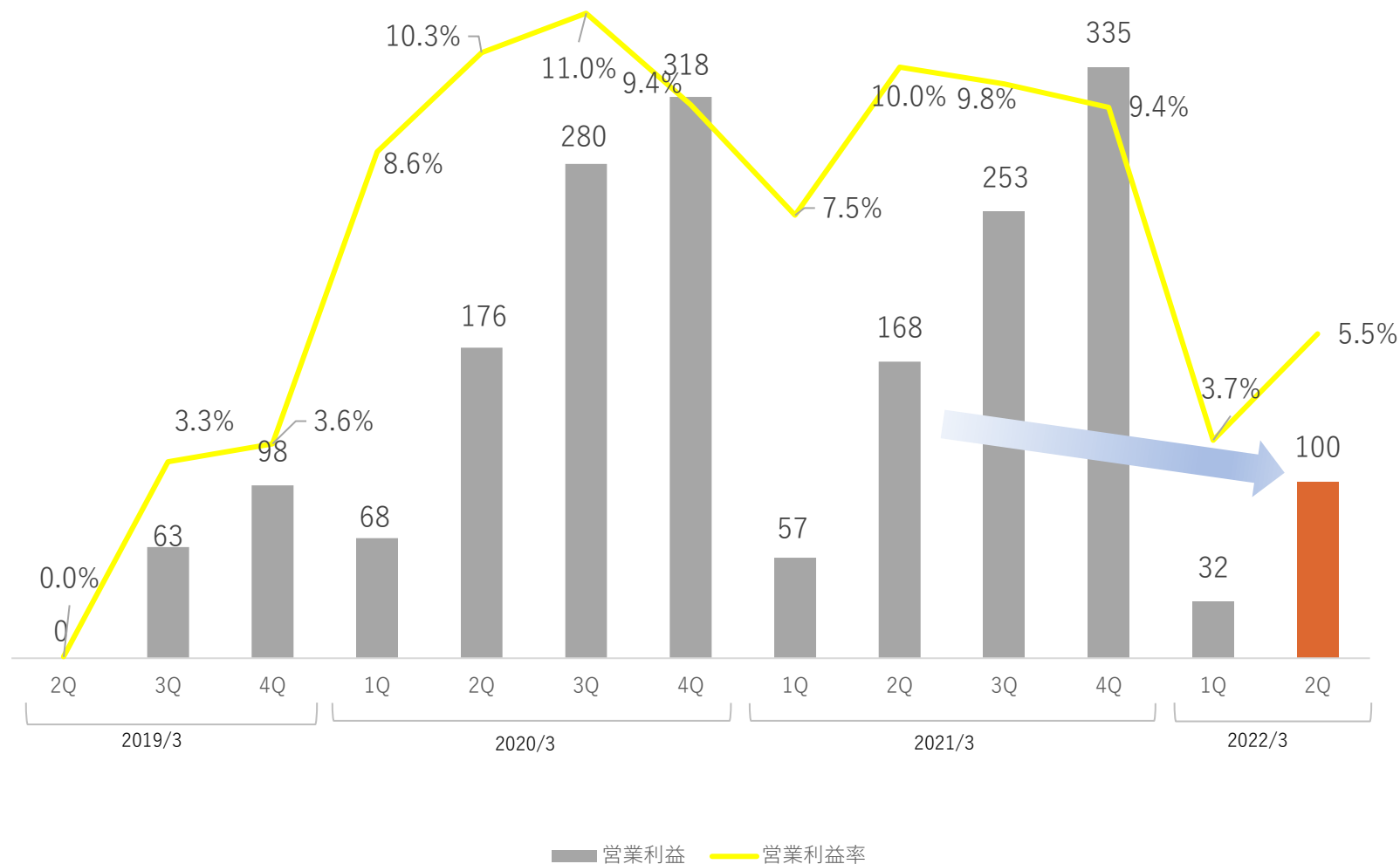
営業利益 会計期間

- ・売上総利益増加も、一時費用計上もあり販管費増加で減益
- ・業務拡大に向け体制強化、採用費計上、人件費、増床による地代家賃等固定費増加
- ・東京コンタクトセンターの増床に伴う一時費用計上
- ・体制強化で通信建設工事事業の継続的拡大支え、収益増加図る



3.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

営業利益 累計期間



ニューストピックス

下期からの事業拡大に備え、引き続き体制大幅強化

▶ 増床

→総オフィス面積：昨対比 **224%**

▶ 採用強化

→従業員数：昨対比 **218%**

→採用費：昨対比 **201%**

▶ 全国工事班体制

→工事班数：昨対比 **182%**

(※2020年9月末対比)

プレスリリース

2021年8月17日※増床関連

5G/IoTサービス需要拡大で東京コンタクトセンターを増床

5G/IoT通信サービスのコンタクトセンター需要拡大を受け、東京コンタクトセンターを大幅に増床(約2.5倍)いたしました。



今後の重点項目

M&Aの積極化

業容拡大に備え、通信建設工事業、人材事業、コンタクトセンター事業を中心に、従来の採用だけでなく、バディネットの中核をなす人材や事業を獲得することを目的としたM&Aを積極化させていく。



CSR活動の積極化

バディネットのサステナビリティ方針を策定し、HPをリニューアル。
方針策定にとどまらず、『新型コロナウイルス感染症でDX化に悩む教育施設の通信環境整備をCSR活動で無償提供』を発表、実施（港区私立幼稚園）する等、CSR活動を積極推進。



3.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

ニューストピックス

Our Service

ポリマテリアル®充填工法

ソフトバンク社での工事のトライアル期間が2Qで終了。
ポリマテリアル充填治具の新機種の開発も完了。
3Q～正式スタートし、来期にかけて工事件数増加見込。
また、トランセン・エンジニアリング社の吸収合併により、設計部隊の大幅増強で、ポリマテリアル®充填工法以外の基地局補強工事（従来方法）も増加見込み。

▶携帯基地局補強のトータルソリューションへ

■世界初となる画期的な技術
ポリマテリアル®充填施工



Our Solution

通信建設事業の拡大

- ・ キャリア屋内電波対策工事の件数増大、キャリア3Gサービス終了に伴うマイグレーション施策が3Q～正式スタート、その他5G関連工事や各種モバイル関連通信建設工事受注が順調で、下期から当該事業の規模が大きく拡大する見込み。
- ・ コロナ禍による各種DX・IT化が追い風、特にインターネット工事（法人・個人）・NWカメラ関連工事・電子黒板、IoTデバイス（センサー等）工事が今期大幅に拡大

【通信建設テック®】通信建設現場におけるドローン活用

- ・ 下期からAIカメラ搭載のドローンを活用した携帯基地局の点検業務を開始。
それに伴い、ドローンパイロットの社内育成強化。
- 当社が掲げる『通信建設テック®』を実現させるべく、携帯基地局点検の業務を皮切りに、通信建設工事現場でのドローンの各種活用を検討・推進していく。



1. 2022年3月期第2四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

売上高

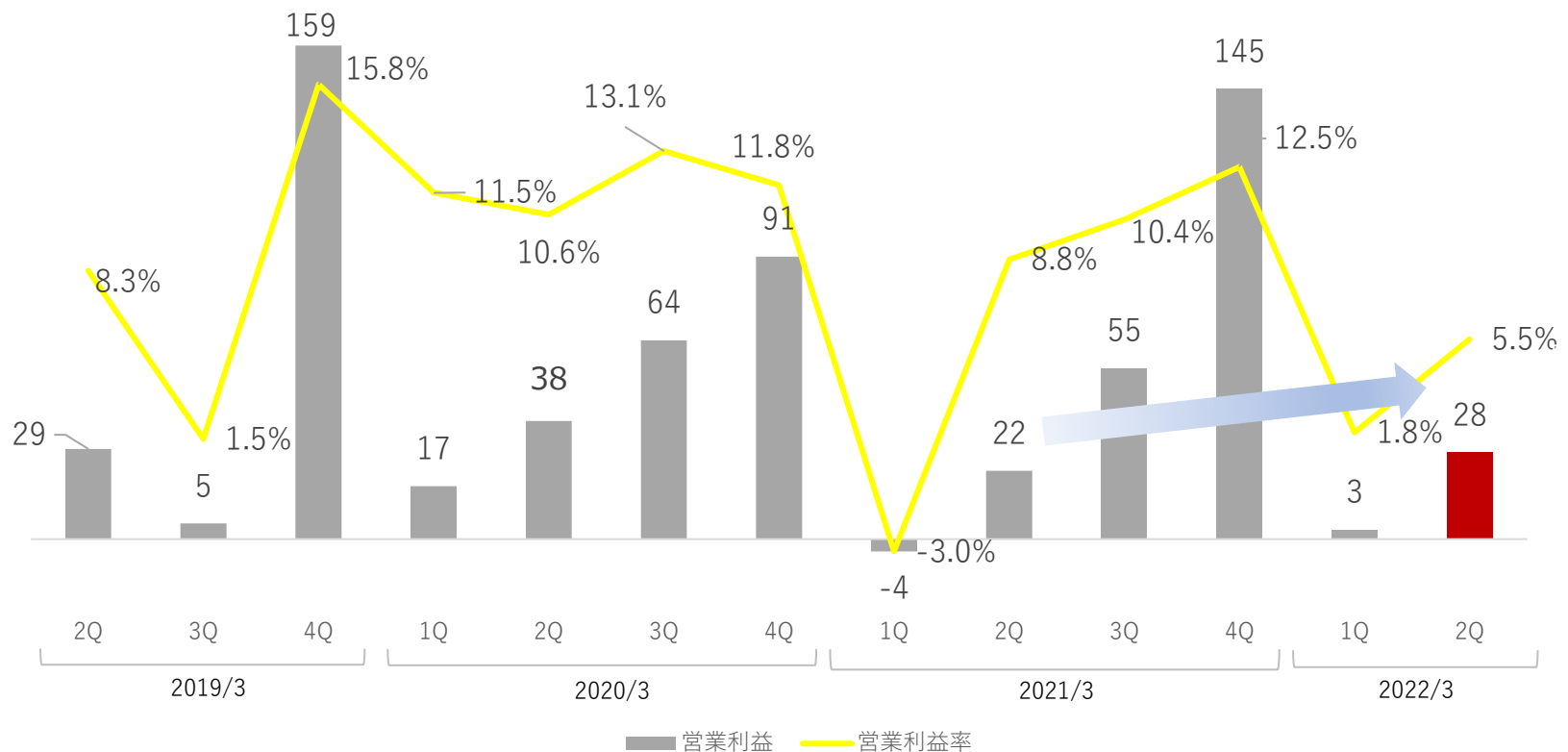
- ・ コロナ禍の影響低減、営業環境は改善
- ・ 感染対策のためのオンラインベースでの営業活動が定着
- ・ 下期偏重を回避するため、営業活動の前倒しに注力
- ・ 納品時の営業活動強化、オンライン講習会の実施等で引き続き受注増加図る



3.セグメント別概況 HPC事業

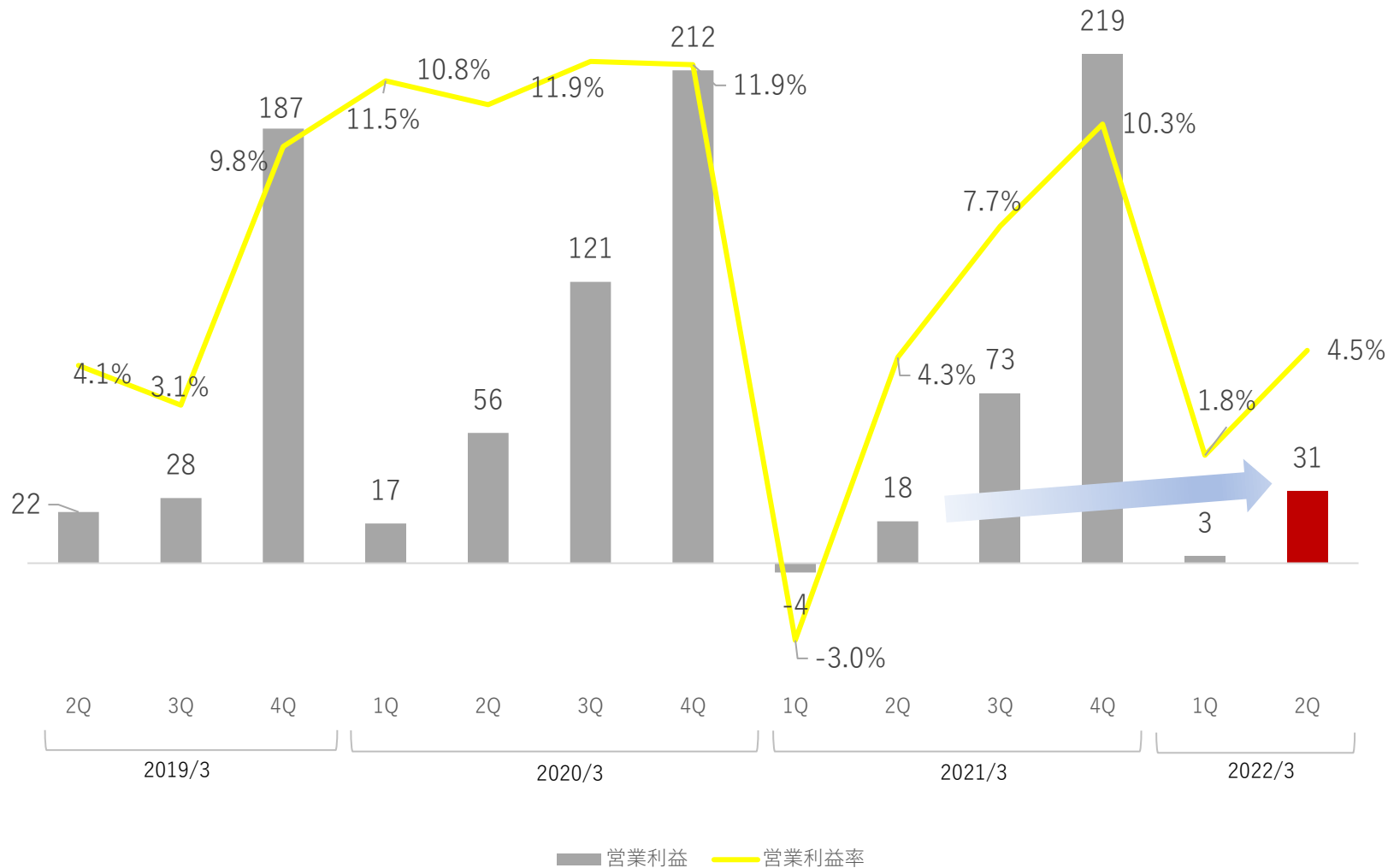
営業利益 会計期間

- ・ 原価高騰もあり売上総利益率低下も増収幅大きく増益
- ・ 地方での営業活動増加で旅費交通費等販管費増加
- ・ 旺盛な需要をとらえ、増収による利益の積み増し図る
- ・ 営業活動行程の効率化で販管費削減図る



3.セグメント別概況 HPC事業

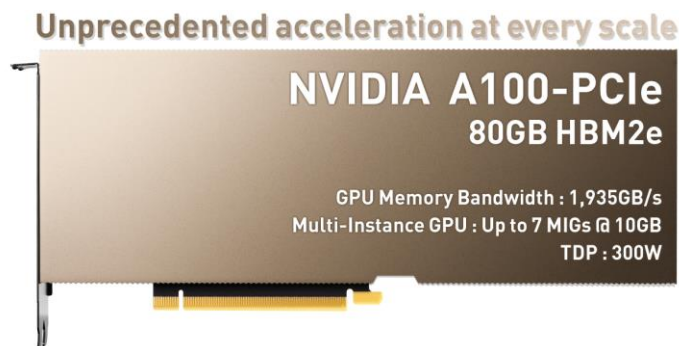
営業利益 累計期間



ニューストピックス

新製品のラインナップ拡大、キャンペーン実施

2021年7月2日 [取り扱い開始]
NVIDIA A100 PCIe 80GB メモリ
搭載モデル



2021年8月4日 [講演会実施]
第3回 インサイト・データサイ
エンスカンファレンス

2021年9月7日 [講演会実施]
日本応用数理学会 2021年度年会

2021年9月9日 [講演会実施]
第49回 可視化情報シンポジウム

2021年10月7日 [キャンペーン]
A6000、A30、A100-PCIe
教育機関のお客様を対象にA6000、
A30、A100-PCIeを特別価格にて
提供する特別キャンペーンを引き続き
実施。



※ 第2四半期累計期間終了後、2021年11月12日までに発表した情報を含む

■ ニューストピックス

大阪営業所を新たに開設

2021年8月5日 [導入事例]
株式会社リチェルカセキュリティ様

サイバー攻撃の対策やマルウェア解析などを業務とされています株式会社リチェルカセキュリティ様に製品を導入いただきました。



2021年10月21 [営業所開設]
大阪営業所開設

西日本エリアへの販路拡張に伴い大阪営業所を新たに開設。

※ 第2四半期累計期間終了後、2021年11月12日までに発表した情報を含む

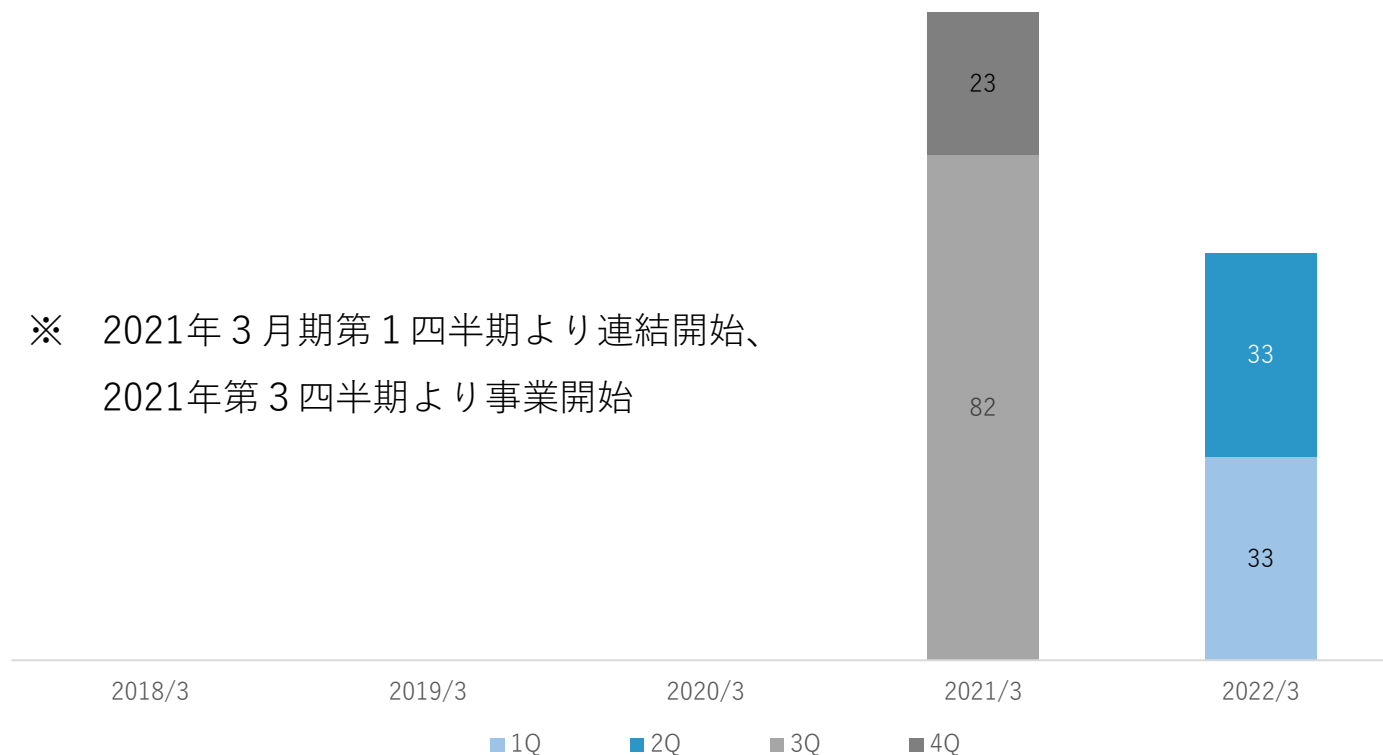
1. 2022年3月期第2四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

3.セグメント別概況 その他事業

売上高

- ・ 緊急事態宣言延長の影響によりキャンセル増加
- ・ 予約減少の中、キャンペーンの実施等取りこぼしの無い誘客施策を推進
- ・ 緊急事態宣言終了後の旅行ニーズ増加を見据え、プランや各種サービスの拡充を検討
- ・ 営業正常化後の誘客強化、顧客満足度向上図り修繕、設備改善に注力

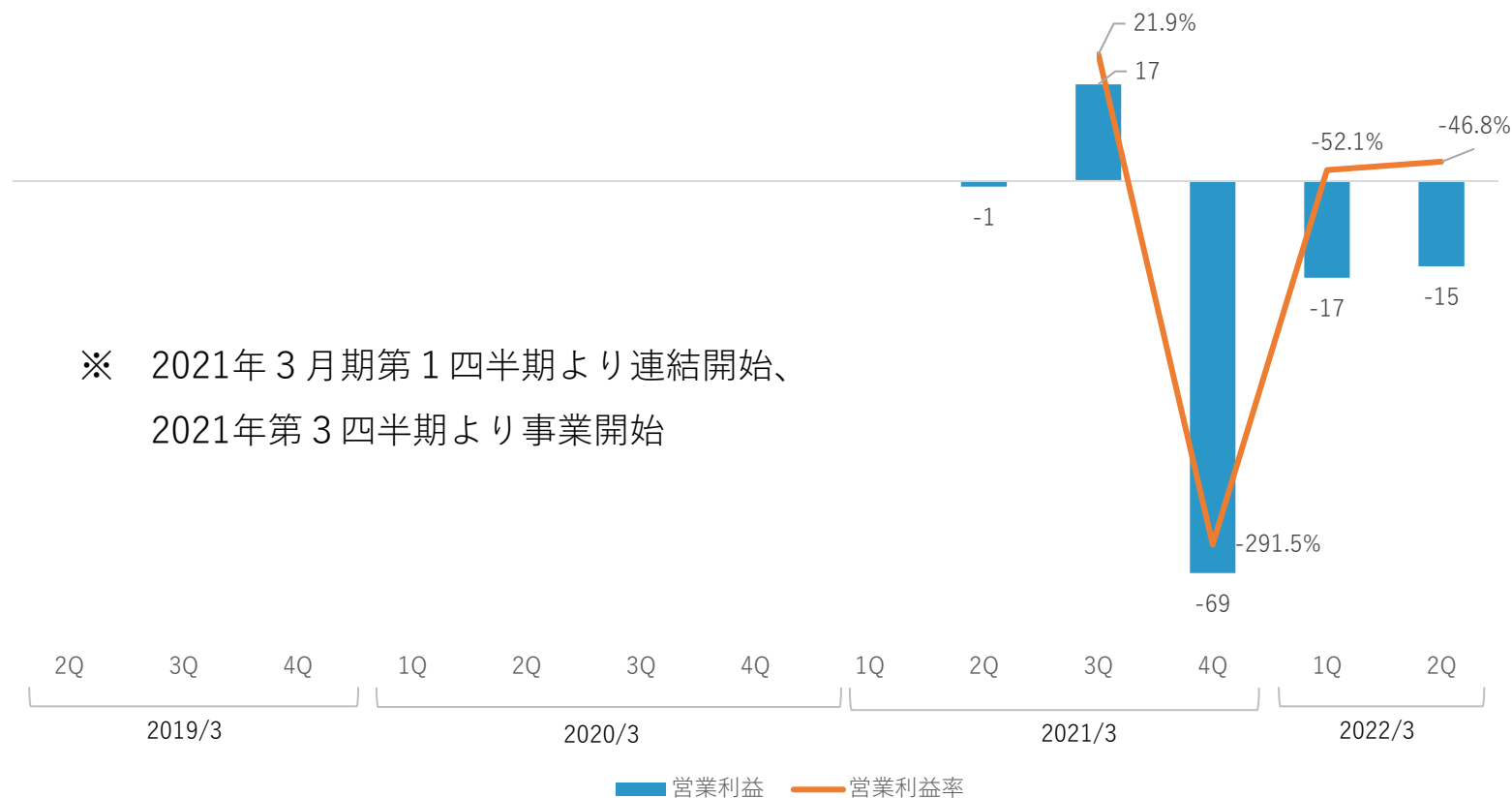
※ 2021年3月期第1四半期より連結開始、
2021年第3四半期より事業開始



3.セグメント別概況 その他事業

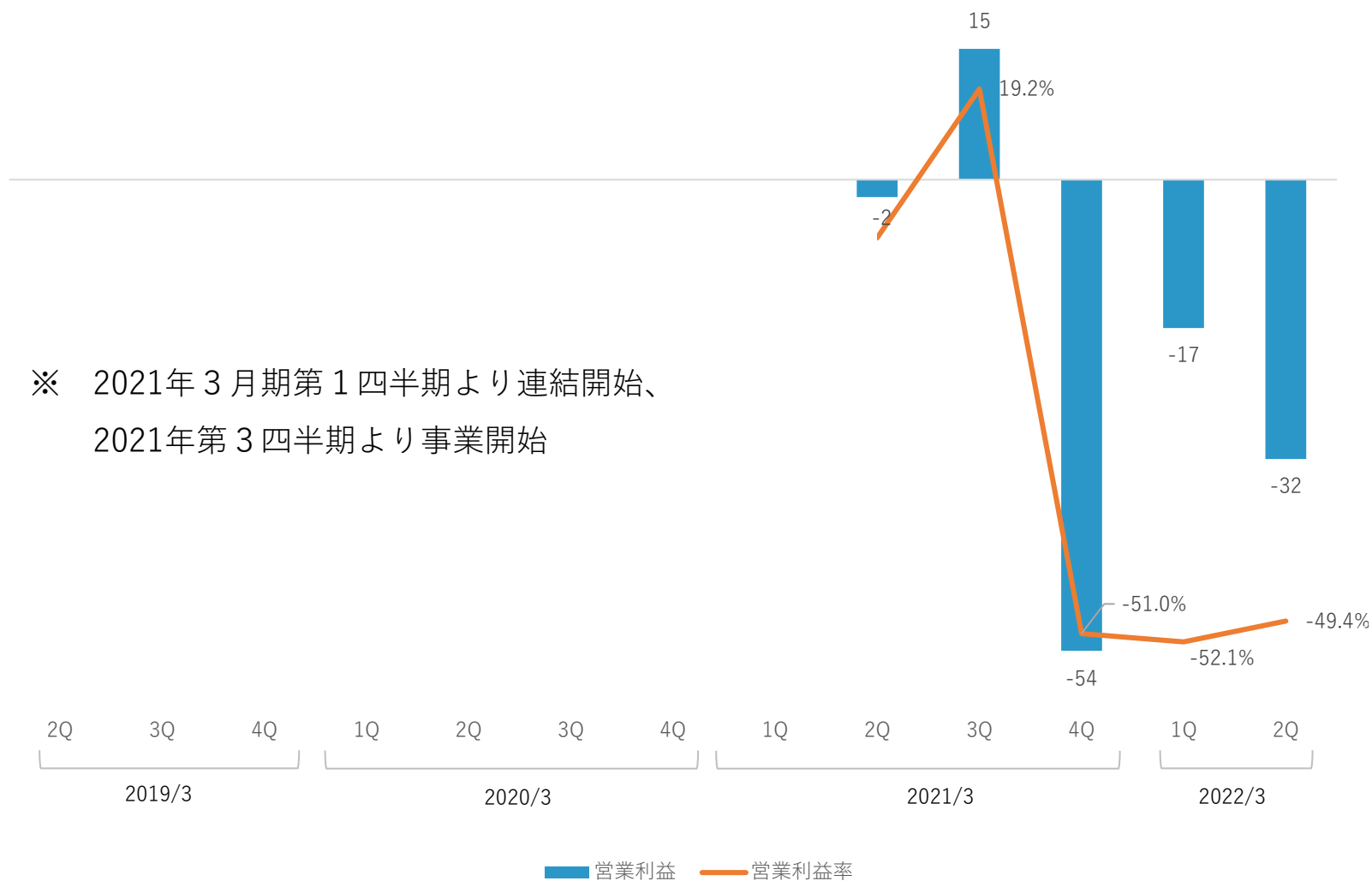
営業利益 会計期間

- ・ 緊急事態宣言発出期間中は、休館日を増加させるなどし費用削減
- ・ 助成金、支援金等を活用し、減益幅を圧縮
- ・ 館内の設備、システムの刷新やIT技術導入により、効率化、省人化を推進
- ・ 営業正常化後を見据え、高付加価値サービスの設計、誘客施策の強化進める



3.セグメント別概況 その他事業

営業利益 累計期間



ニューストピックス

顧客満足度向上に向けたイベントやプランを実施



ペット用品ブランドとのタイアップ企画

ペット用品ブランド「BESTIES(ベスティーズ)」と鬼怒川絆のタイアップ企画として、Instagramでのフォトコンテストを開催。



栃木県民向特別割引実施

栃木県内にお住まいの方に向け、特別割引を実施。

※ 第2四半期累計期間終了後、2021年11月12日までに発表した情報を含む

ニューストピックス

館内設備の修繕実施 顧客満足度向上図る



家族風呂のメンテナンス補修実施

館内補修の一部として、家族風呂のメンテナンス補修を実施中。
リニューアル後の満足度向上を図る。



客室設備も順次修繕実施

客室内の設備（エアコン、風呂等）も順次修繕、リニューアルを実施中。

※ 第2四半期累計期間終了後、2021年11月12日までに発表した情報を含む

1. 2022年3月期第2四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

4.総括

総括

第2四半期は、新型コロナウイルスのワクチン接種も開始され企業活動や経済活動の再開が進んだ一方で、新型コロナウイルスの変異株の流行により感染者数が再び増加し、首都圏を中心に再度の緊急事態宣言が発出されるなど、先行き不透明な状況の中、通信、HPCは2Q単独で増収、全報告セグメントにおいて2Q累計期間で増収となり、利益においても、先行投資やM&Aによる一時費用を吸収し、業績予想を超える水準となりました。他方、半導体製品の供給難は継続し、製造販売に支障をきたすケースが現れるなど、市場環境は予断を許さない状況であることから、通期業績予想は据え置くことといたしました。引き続き、法人向けメモリの回復、先行投資で体制強化を行ったバディネットの拡大継続、HPCの堅調な推移及び3Qにおける旅館事業の正常化を背景に、適切な状況分析と、時機に適う意思決定をとおして、通期業績予想の達成に向け努めてまいります。

	予想	実績	実績	予想	予想
	2022年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期累計	前期比	2022年3月期 予想	前期比
売上高	7,000	7,559	116.9%	15,000	101.7%
営業利益	120	186	76.7%	750	107.6%
経常利益	117	188	77.2%	750	109.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	60	96	68.4%	400	115.7%
一株当たり当期純利益	6.53円	10.47円	68.4%	43.55円	115.7%

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報及び当該情報に基づく仮定に依拠しているため、リスクや不確実性を含んでいることから、実際の業績等は様々な要因により業績見通し等とは異なる可能性があり、当社がその実現を約束するものではありません。

※2021年7月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施しております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「一株当たり当期純利益」を算定しております。

1. 2022年3月期第2四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

<商号>

株式会社AKIBAホールディングス（旧株式会社アドテック）

<上場市場>

東証JASDAQ市場（スタンダード 証券コード：6840）

<設立>

1983年2月17日

<資本金>

7億円

<事業内容>

グループ会社の統括及び運営

<決算期>

3月末

<連結売上高>

147億円（2021年3月期）

<役職員数>

255名（連結 2021年3月末日）

<本社所在地>

〒104-0045

東京都中央区築地2-1-17 陽光築地ビル

Tel：03-3541-5068(代表) Fax：03-6260-6258

<役員>

代表取締役社長	馬場 正身
取締役 管理本部長 CFO	五十嵐 英
取締役 管理本部副本部長	富山 理布
取締役 グループ監査室長	後藤 憲保
取締役（社外）	丸山 一郎
取締役（社外）	黒部 得善
取締役（社外）	後藤田 翔
常勤監査役	石本 圭司
監査役（社外）	西田 史朗
監査役（社外）	中川 英之
補欠監査役（社外）	藤浪 努

<会計監査人>

KDA監査法人

<株主名簿管理人>

三井住友信託銀行株式会社

<顧問弁護士>

原 大二郎（ライジング法律事務所）
谷口 明史（北浜法律事務所）

1983年（昭和58年）	2月	株式会社アドテックを設立
1993年（平成5年）	6月	パソコン用増設メモリモジュールの製造販売を開始
1997年（平成9年）	10月	株式額面変更のため株式会社エフ・ケー・インターナショナルと合併
1998年（平成10年）	11月	日本証券業協会に株式を店頭登録
2004年（平成16年）	12月	ジャスダック証券取引所（現 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に株式を上場
2013年（平成25年）	5月	株式会社エッジクルー（現 連結子会社）を設立
同年	7月	大阪証券取引所と東京証券取引所の現物市場の統合に伴い、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に株式を上場
2013年（平成25年）	12月	株式会社チームエンタテインメントを買収
2015年（平成27年）	1月	株式会社バディネット（現 連結子会社）を買収、バディネットの完全子会社である株式会社モバイル・プランニングもグループに加わる
同年	10月	株式会社AKIBAホールディングスに商号変更、新設分割により株式会社アドテック（現 連結子会社）を設立、純粋持株会社体制に移行
同年	12月	株式会社AKIBA LABO福岡を設立。福岡県飯塚市においてソフトウェア開発拠点を設置
2016年（平成28年）	3月	iconic Storage株式会社を買収
2017年（平成29年）	1月	株式会社HPCテック（現 連結子会社）を買収
2018年（平成30年）	2月	株式会社チームエンタテインメント株式を売却
2018年（平成30年）	11月	子会社の現物配当により株式会社モバイル・プランニングを直接保有の完全子会社化
2019年（令和元年）	7月	ウェブソリューション事業を株式会社バディネットに移管、通信コンサルティング事業に統合
同年	7月	ミナトホールディングス株式会社と業務提携開始
同年	9月	株式会社モバイル・プランニング株式を売却
2020年（令和2年）	5月	株式会社ダイヤモンドベッツ&リゾート（旧 株式会社AKIBA LABO福岡）にて新規事業（ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」の運営）開始
同年	10月	ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」グランドオープン
同年	10月	株式会社バディネットが株式会社トランテンエンジニアリングを買収
2021年（令和3年）	4月	株式会社バディネットがiconic Storage株式会社と株式会社トランテンエンジニアリングを吸収合併
同年	10月	株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社を買収



グループ企業一覧



株式会社AKIBAホールディングス

【純粋持株会社】
グループ会社の統括及び運営

メモリ製品製造販売事業

株式会社アドテック、シーアールボックス株式会社



メモリ製品の製造・販売
パソコン周辺機器等の販売
IoTソリューション事業
電子路開発・設計・製造

通信コンサルティング事業

株式会社バディネット



エンジニアリング事業
BPO事業
通信コンサルティング事業
人材派遣・人材紹介事業
システム開発・受託事業
コンタクトセンター事業

HPC事業

株式会社HPCテック



科学技術コンピュータの製造・販売

その他事業

株式会社ダイヤモンドペット&リゾート



旅館事業
ペット商品事業
IT事業
イベント事業
不動産事業

独自の技術開発力に基づいた高品質・高付加価値な製品を市場に提供し続けます。

代表取締役社長 下津 弘亨

IT技術の目覚ましい進歩が次の時代の大きな変革となっており、産業界においてもIT技術のさらなる活用と研究・開発、並びに無人化や省力化を実現する自動化技術が進んでいます。私たちアドテックが目指すのは、次の時代へと繋がるテクノロジーを応用した製品やサービスの開発です。これからもアドテックは、ハードウェア、ソフトウェア分野における各種ITソリューションの提供並びにメモリ関連製品の技術の向上を図ります。そしてIT時代の重要な架け橋になる企業となることを目指し、社会の発展に貢献してまいります。

事業内容

■ メモリ製品製造・販売事業

パソコン・サーバ用増設メモリ、SDカードや microSDカード、USB フラッシュメモリ、SSD、CFカード、CFastカード等を製造・販売を行います。産業用・工業用・組込用途に適した部品固定・長期安定供給の製品群も数多くラインナップしています。

Memory module

メモリモジュール

- ▶ パソコン適合検索サイトをご用意
パソコン・サーバへの対応可否も容易に検索可能
- ▶ 高品質かつ長期安定供給体制の産業用向け製品の多数の納入実績



Flash Memory

フラッシュメモリ

- ▶ 民生用向け製品では、データ復旧サービスが付属した安心保証（一部製品）
- ▶ 豊富なラインナップの産業用向け製品の多数の納入実績



■ IoTソリューション事業

自動運転やスマートメーター、自販機まで、意識せずにインターネットに繋がるIoTが、広い範囲で我々の生活を支えています。当事業部は、様々な規模のIoTシステムと共に、関連機器、マイコン機器等についても、開発、製造、販売まで取り扱っています。

IoT System

IoTシステム

- ▶ IoTシステムとモデム、通信モジュールを用いたIoT端末の開発
- ▶ 実績のある協力会社と共に様々な分野のIoTシステム開発に対応します。



Toradex®

トラデックスモジュール

- ▶ ARM系CPUモジュール
- ▶ Toradex® の代理店販売、キャリアボード開発及び開発サポートを行います。



拠点

▶ 大阪営業所

大阪市浪速区日本橋4-16-1
ユニットコム本社ビル3階

▶ R&Dセンター

東京都町田市小山ヶ丘2-2-5-8
まちだテクノパーク センタービル7、8階

取り組み

■ 最先端メモリからレガシーメモリまでの幅広いラインナップをサポート

DDR4メモリ、M.2 SSD等の最先端メモリから、産業用で長期需要があるDDR1メモリ、SDRAMメモリ、CFカード等のレガシーメモリ迄、幅広い製品ラインナップと製品サポートを継続展開していきます。

■ メモリメーカーの枠に捉われず、周辺機器メーカーとしての新しい取り組み

メモリ製品だけでなく、お客様のニーズにお応えする新しい周辺機器の製品開発を積極的に行っており、幅広いラインナップの展開、販売を行い、お客様のお役に立てる企業として、成長してまいります。

■ IoTシステム、端末 設計開発

- ▶ IoTシステムの構想、端末開発など、お手伝いします。
- ▶ LTEモデムからLoRaなどのLPWAモデムなど、多くの通信機器の実績があります。
- ▶ ハード/ソフト双方で相談ください。

■ OEM機器 受託開発/販売

- ▶ 民生/医用/車載等、様々な分野の受託開発に対応します。
- ▶ OEM機器の開発、量産、販売及び、サポートを行います。
- ▶ 構想検討から販売まで、実績のある協力会社と共に取組みます。

■ ARM系CPUモジュール販売

- ▶ NVIDIA、NXP製(ARM系)CPUモジュールToradex®の代理店販売
- ▶ Toradex®モジュールを拡張するキャリアボードのカスタム開発
- ▶ Toradex®モジュール及びキャリアボードの技術サポート



名 称 : シーアールボックス株式会社
設 立 : 2000年 2月
資本金 : 17,000,000円
本 社 : 東京都八王子市大塚631-1
U R L : <https://www.crbox.co.jp/>

技術、品質、コストパフォーマンスを追求すべく たゆまぬ努力をし、社会に貢献する。

代表取締役 菊地 仁志

私もシーアールボックスは「回路設計における真の目的とは」を常に意識しその潜在化した問題を顕在化し、回路設計のアイデアで高次元にクリアすべく日々研鑽を重ねております。培ったアナログ技術にデジタル技術や既成概念にとらわれない最新技術を融合し、主力である電源のみならず様々な分野の課題を解決へと導くことが我々の使命と肝に銘じ、最高のパフォーマンスを発揮いたします。

事業内容

■ 各種マイコンユニット、電源モジュール等、電子回路開発・設計・製造

AC/DC、DC/DC、マルチ電源などの各種電源およびアイソレーションアンプ等のカスタム設計を得意としています。特に産業機器への採用実績が多数あり、高信頼性、長寿命、また長期安定供給への対応を得意としています。

自社開発製品

コンバータ

- ▶ AC/DCコンバータ (マイコン搭載、バッテリー充電制御・残量 計測機能、多出力同期SW、PFC+LLC[力率改善・ソフトスイッチング] etc.)
- ▶ DC/DCコンバータ (モールド式オンボード・マルチ出力・低ノイズ・高電圧入力・超低温起動・ケミコンレス・医療用高耐圧・車両搭載用[高信頼性] etc.)

DCモータ駆動回路

- ▶ マイコン搭載、半導体SW式、リレー式etc.

インバータ

- ▶ マイコン搭載、半導体SW式、リレー式etc.

アイソレーションアンプ

- ▶ 2ポート式、3ポート式、高耐圧、高精度トランス方式etc.

各種センサ回路、制御回路

- ▶ 各種センサ回路 (マイコン搭載高精度露点計、温度計、湿度計、降雪センサ、ガスセンサetc.)
- ▶ 各種制御回路 (電力制御回路[マイコン搭載・低ノイズトライアック制御]、各種冷暖房機用制御回路、ヒータ温度制御、ヒートポンプ制御回路、蓄熱暖房器、電気ボイラ、床下暖房、リモコンetc.)

LED関連

- ▶ AC駆動、DC駆動、電球素子、1/fゆらぎ制御etc.

柱上装置

- ▶ 搬送波通信制御装置



主要取引先

- ▶ 代理店 : エレマテック(株)、(株)レスターエレクトロニクス、(株)システック、富士エレクトクス(株)、(株)ジェムコ、日研機器(株)
- ▶ 主要顧客 : (株)安川電機、(株)日立製作所、(株)東光高岳、サンポット(株)

※敬称略、順不同

■ 海外パートナーシップ企業 (Universal Microelectronics社)

1984年に設立された台湾・台中市に本社がある台湾上場企業です。セミカスタマイズを得意としておりますので、ご要望にお応えした仕様で量産納入します。

会社概要

- ▶ 工場 台中本社工場、中国・深圳工場、ベトナム・ハノイ工場
※最新設備による最良の生産管理システムを導入し、日本企業からも高評価
- ▶ 取扱製品 電磁製品、電源製品、各種センサ、EMS



CRBOXの役割

- ▶ 輸入業務 (輸入事業者登録取得)、貨物の纏め輸入による輸送費コスト削減
- ▶ 不具合発生時の一次解析対応
- ▶ 設計支援 (設計を行い生産をUMECで行うことも可能)
- ▶ お客さまのご要望を最大限に受け入れた最適提案を実施



拠点

▶ 仙台事業所

宮城県宮城郡利府町花園2-6-1

取得認証

- ▶ 特許 ▶ 特開2010-054383 ガスセンサ装置 2010年03月11日 特許4326582
- ▶ 特開2009-270891 ガスセンサ装置 2009年11月19日 特許4353999
- ▶ 特開2008-301565 トライアック制御装置 2008年12月11日 特許4534063
- ▶ 特開2005-102050 遠隔操作システム 2005年04月14日 特許4208685
- ▶ 特開2001-037276 直流モータ駆動回路 2001年02月09日

通建テック™で建設業務を圧倒的に低コスト化。 IoT/5G時代に通信建設を変革していきます。

代表取締役社長 堀 礼一郎

IoTの時代は、エアコンや冷蔵庫、椅子や電球など、目に見える全てのモノが通信に繋がる世界。それは、革新的な世界であるからこそ旧態依然のままでは対応できず、新しい考え方や手法が求められています。我々は、これまでビジネス・インテグレーターとして培ったノウハウと技術力にAKIBAホールディングスグループが誇るITの総合力を掛け合わせ、この課題を解決します。そして、より一層便利な社会を創り守っていくために、益々の企業規模拡大を目指していきます。

事業内容

エンジニアリング事業

高度化する企業のネットワーク・インフラ構築を確かな技術力でサポートします。

Mobile Engineering

モバイルエンジニアリング

移動体通信局構築工事
5G/L5G/LPWA 等、
IoT構築、電波不感知対策、
無線基地局設計
屋内電波対策工事

Network Engineering

ネットワークエンジニアリング

FTTH光・WAN・LAN、
電気・電話 設備、
Wi Fi 構築、ネットワークカメラ

Field Support

フィールドサポート

全国保守サポート
IT機器の設置・交換

コンタクトセンター事業

Contact Center Service

コンタクトセンターサービス

高品質、スピードをキーワードに掲げ、
お客様のご要望に応じた最適なコンタクト
センターソリューションを提供します。

カスタマーサポート、テクニカルサポート、
アウトバウンドコール、コンサルティング、
CRMソリューション

通信コンサルティング事業

Mobile Consulting

モバイルコンサルティング

全国600名の経験豊富なセールスチームと実
績のあるコールセンターが貴社の売り上げ拡大
をサポートします。

新規訪問営業

ルート営業

インバウンドサービス

アウトバウンドサービス

契約・収納

カスタマーサポート

BPO事業

BPO Service

BPOサービス

お客様の課題を業務設計から
業務の効果分析、改善案実
行による業務効率化まで一括
して支援します。

スキーム構築

営業支援

施工・設置

保守・メンテナンス

マーケティング

サポートデスク

設計・開発支援

バックオフィス

等

人材派遣・

人材紹介事業

Buddy Staffing

バディスタッフィング

企業活動に必要な様々な
分野の人材を紹介します。

施工管理、オフィスワーク、

コールセンター

セールス・プロモーション、

軽作業 他

システム開発・受託事業

System Engineering

システムエンジニアリング

情報通信機器を中心にハード機器・ソフトウェアの設
計開発をサポートします。

各種ソフトウェア開発（受託・SES）

ネットワーク構築

IoT研究開発

エンジニアリングサービス

コンサルティング

拠点

■ 営業所

【新宿営業所】新宿区新宿6-5-1 新宿アイランドタワー6F

【大阪営業所】大阪市浪速区日本橋4-16-1 ユニコム本社ビル3F

【福岡営業所】福岡市博多区博多駅中央街5-11第13泰平ビル3F

■ コンタクトセンター

【東京CS】中央区築地

【和歌山CS】和歌山市本町

【福岡CS】福岡市博多区博多駅中央街

取得認可

▶ 労働者派遣事業

許可番号：派13-306504

許可年月日：2016年6月1日

▶ 職業紹介事業

許可番号：13-ユ-308341

許可年月日：2016年12月21日

▶ 商標

「通建テック」出願番号 2020 100938

「通信建設テック」出願番号 2020 100937

▶ 特許

ポリマテリアル充填工法

▶ 建設業許可

許可番号：電気工事業（特 2）

第 140501 号、

電気通信工事業（般 30）

第 140501 号

許可年月日：2013年8月30日

取り組み

安全品質管理の体制

当社は、作業所の安全確保と安全な職場環境を形成することで、労働災害発生を未然に防ぎ安全で
かつ安心な品質を確保します。

▶ 安全パトロールの実施

▶ 事故事例検討会の実施

▶ 安全衛生協議会の実施

▶ 情報セキュリティ事務局の設置

▶ 施工安全計画書の策定

個人情報保護

当社は、社会の通信インフラに関わる業務並びに人材サービス(労働者派遣等)に
関わる業務に携わっております。これら業務を行うに当たり、個人情報保護という社
会的責任を認識しプライバシーの保護、個人情報に関する法規制等を遵守し、事
業活動を行うためにプライバシーマークを取得し、業務を実行しています。

国際的な競争力の強化と人々が自己実現できる 豊かな社会を目指し最善の努力をつくします。

代表取締役 奥山 義弘

21世紀に入り日本を取り巻く国際情勢は目まぐるしく、大きな変動の中で産業界や大学・研究機関の役割・今後の進むべき道も大きく変わろうとしています。企業間の国際競争もそして同じ業界内での連携や競争または異業種との交流もその激しさとスピードを一層増してきています。その中において新たな技術やサービスの開発の基となる科学技術コンピュータ（HPC）やIT技術は国家や企業のよりよい未来を創造する事でしょう。

我々はこの激動する社会・経済の変化の中で、世界的に繋がったインターネットのように人と人との繋がりを大事にして、新しい世代を担う大学・研究機関・企業の方々の発展と地球環境の保全に貢献したいと心から願う次第です。

事業内容

科学技術コンピュータ製造・販売事業

高度な科学技術計算機を必要とする大学、研究機関、企業の研究開発部門向けに、科学技術計算分野向けコンピューターの製造、販売を行っております。天気予報、地震予測、自動運転、電子機器や新素材の開発などに用いられ、ビッグデータ解析やAI（人工知能）、ディープラーニング（深層学習）といった分野にも活用されています。

Hardware

ハードウェア

デスクトップ計算機
GPU計算機
Xeon Phi計算機
ラックマウント型計算機
ポータブル型計算機
大容量ストレージサーバ

サーバメモリ
インフィニバンド
フラッシュストレージ
無停電電源装置
サーバラック・静音ラック

Software

ソフトウェア

クラスタ管理ツール
ジョブスケジューラ
コンパイラ
構造・流体
マルチフィジクス
化学・量子化学
物理・電子
電磁界
可視化
数値解析
クラウド支援ツール

Set Up Service

セットアップサービス

OSセットアップ
GPUアクセラレータセットアップ
Deep Learningセットアップ
Singularityセットアップ
Deep Learning用サンプルプログラム
復旧用リカバリーUSB作成サービス
コンパイラセットアップ
各種アプリケーションのインストール代行作業

ネットワーク設定
MPI並列計算環境セットアップ
ジョブ管理ソフトセットアップ
クラスタ設定
RAID設定
設置サービス
訪問相談サービス

取得認証

ISO9001 : 2015 (品質の保証)

登録証番号 : GIJP-0193-QC

初回認証登録日 : 2018年10月1日

認証範囲 : HPC 製品（科学技術計算器）の組立・販売・サポート

ISO14001 : 2015 (環境にやさしく)

登録証番号 : GIJP-0193-EC

初回認証登録日 : 2018年10月1日

主要取引先

東京大学 京都大学 東北大学 大阪大学 九州大学 北海道大学 名古屋大学 筑波大学	東京工業大学 広島大学 横浜国立大学 早稲田大学 慶應義塾大学 明治薬科大学 慈恵医科大学	トヨタ自動車 デンソー 日本製鉄 鹿島建設 東芝 三菱電機	凸版印刷 ソニー オリンパス 住友電工 NTT 楽天	産業技術総合研究所 理化学研究所 海洋開発研究機構 宇宙航空研究開発機構 遺伝研 等
--	---	--	---	---

※敬称略、順不同

取り組み

品質環境方針

ISO認証を受けた国内の自社オフィスに製造専用ラインを持ち日々、熟練されたエンジニアが品質向上に取り組み、全ての計算機を一つ一つ手作業で生産しております。部品選定、検品、製造、エージングテスト、全ての項目を厳しくチェックし、高品質の製品をお届けします。



環境への取り組み

企業活動と地球環境との調和・安全の推進を行い、環境負荷の低減及び環境マネジメント継続的改善に取り組み、環境に優しい事業活動の継続的な推進を行います。開発、購入、製造、販売プロセスなど事業のあらゆる面で効率化を推進し、環境に優しい活動を推進します。製品やサービスの品質向上を図り、省資源化や廃棄物対策の推進に努めます。環境に配慮した製品やサービスの開発に努め、お客様へご提供します。グリーン購入の推進及び、製品のコストダウンをはかり、より一層の社会貢献を目指します。

- ▶ 環境関連法規制等の順守
- ▶ 環境保全活動の継続的な推進

次世代のサービス産業の在り方をIT技術で 創造する企業を目指します。

代表取締役社長 下津 弘亨

当社は過去の事業再生ノウハウと新たに旅館事業におけるノウハウを持つことで、更なるサービス事業領域の強化を図って参ります。また当社グループの株式会社アドテック、株式会社バディネットの事業であるIoT 分野及び通信分野（5G やIoT 通信）において、この鬼怒川絆を様々な研究場所として、館内のお客様への利便性・快適性の追求やそこに働く従業員のための業務効率化や労働環境改善に向けた技術開発の追求を行って参ります。また地元密着で、IT 関連の実証実験や製品販売の推進、IT 技術を活用したイベント等の催し物等へのサポートなど多角的視点で、事業展開を図って参ります。

事業内容

旅館事業

栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川 絆」の運営事業をスタートさせました。鬼怒川の自然に包まれながらペットと過ごす最高のひと時を私達絆スタッフが最大限にサポートいたします。鬼怒川絆は、自慢の庭園を始め、会席料理、天然温泉、大切なペットと快適に過ごすことの出来る館内施設を運営し、また周辺の様々な施設との連携も進めております。

ペット商品事業

ペットとの暮らしにおけるニーズが複雑化、多様化している中、飼い主様とペットの利便性、快適さ、健康の向上をテーマに、ペットフードや飼育用品から保険まで、あらゆる種類のペット商品に関して、市場ニーズの把握から商品の企画、製造、輸入、販売までを行なう総合ペット商品事業の構築を目指して参ります。

IT事業

当社グループのノウハウを活かし、人口が減少する中で競争が激化する旅館、飲食店、小売店等BtoC ビジネスのIT 化、IoT化を推進する機器及びソリューション開発を行い、ビジネスの効率化、差別化推進に貢献して参ります。又、ペットとの暮らしのQOL 向上に貢献するものとして、昨今海外を中心に開発の進む、ペットの福祉、健康等に関するIoT機器の開発、製造、輸入、販売事業も推進して参ります。

取得認証

温泉利用（浴用）許可

許可番号：栃木県指令西保第3621-7号/8号/ 9号/ 10号/11号/12号/13号/14号 /
 15号/ 16号/17号/18号
 許可年月日：2020年8月27日

飲食業許可

許可番号：栃木県指令西保第10006242号
 許可年月日：2020年8月25日

旅館業許可

許可番号：栃木県指令西保第010500015号
 許可年月日：2020年8月28日

イベント事業

2020年10月1日に栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川 絆」の運営事業をスタートさせましたが、旅館運営にとどまらず、地元の活性化に貢献することで、当旅館にお越しのお客様がさらに様々な過ごし方を演出できるようにしてまいります。その為に館内における催し物だけに留まらず地域との連携による様々な催し物の開催に向けた企画等を積極的に推進し、イベントの企画・運営を事業の一つとしております。

不動産事業

当社の行なう旅館業は、サービス産業であると同時に、装置産業であり、立地、不動産の性質が非常に重要な要素となることから不動産事業の性質を有しております。そのため、当社は、開業にあたり、将来の事業拡大を支えるため、不動産事業を重要な事業領域として行うことといたしました。不動産事業においては、デューデリジェンス、投資、再生、プロバティマネジメント、アセットマネジメント等総合不動産事業の構築をして参ります。

施設概要

名称：鬼怒川 絆
 住所：栃木県日光市鬼怒川温泉大原1422-4
 電話：0288-25-7733（鬼怒川絆予約係）
 メール：info@diamondpets.co.jp
 ホームページ：<https://kizuna-kinugawa.com/>
 仲居ブログ：<https://ameblo.jp/kizuna-kinugawa/>





<https://www.akiba-holdings.co.jp/>